

令和 5 年 9 月 8 日

東員町議会広報広聴常任委員会
委員長 広田 久男 様

東員町議会
山崎 まゆみ

研 修 報 告 書

研修期間	令和 5 年 8 月 28 日 (月) ～8月29日 (火) 【 2日間】
研修 (視察) 先	8月28日・・・全国町村議員会館 8月29日・・・神奈川県 開成町議会
目的 (テーマ等)	8月28日・・・令和5年度町村議会広報クリニック (第2分科会) 8月29日・・・議会広報広聴活動について
参加議員名 (複数の場合)	広田委員長、山崎副委員長、 大崎委員、片松委員、中村委員、三林委員
資料添付の有無	有 ・ ④

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

8月28日・・・令和5年度町村議会広報クリニック

講師；文章コンサルタント、元朝日新聞校閲部長 前田 安正 氏

◎議会広報紙を見やすく、わかりやすく！！

◎文章を書くのは難しい

- 簡潔で読み手に伝わる文章を目指す

◎「が」は直近、「は」は遠い

- 「が」・・・主語を明確にする格助詞。直近の術語にのみ影響する特性。
「は」・・・あるものの中から一つを代表させる副助詞。遠くの術語に影響する特性。

A:「母はご飯を食べているのを見るとうれしくなる。」

B:「母がご飯を食べているのを見るとうれしくなる。」

◎実際に文章をチェック

鳥取県岩美町議会紙、鳥取県北栄町議会紙、鳥取県日南市議会紙、

鳥取県^{ひえづむら}日吉津村議会紙、鳥取県奥出雲町議会紙、広島県海田町議会紙、

鳥取県^{ほうきちよう}伯耆町議会紙、

それぞれの議会広報紙を題材にして、講師の先生が文章や写真、構成をチェックされ、改善すべきか所の説明を聞く。

8月29日 神奈川県開成町議会広報広聴委員会 視察

(1) 議員一人1台のタブレット端末を活用した ICT 化の促進

「開成町議会 ICT 化推進委員会」

- オンライン委員会の開催
- 議員がタブレットで動画撮影し、編集して 20分の「議会報告会の動画」作成した。→YouTube チャンネルで配信

(2) 住民に開かれた議会

- 開成町議会広報は「ウェブサイト」と「広報紙」の両輪。
- 一般質問の予告動画（20秒）と終了直後動画（20秒）を各議員各自で作成。
- ウェブ＝見易さ、わかりやすさ、探しやすさ、
- キッズページ

☆☆☆紙版 ⇒ 令和4年5月から、タブロイド判に紙面を変更

《所感》全国町村クリニックの研修参加は4度目であるが、今回の前田先生の講義は初でした。「見やすくわかりやすい議会広報紙作り」はどの先生にも共通ですが、前田先生の文章作法クリニックについては、わかりやすく合点がいく点が多々ありました。

読み手である地域住民の皆さんに「伝えなければならないこと」と、「これだけは是非

でも伝えなければならないこと」を簡潔に書いていけばよいという、講師先生の言葉で上手にまとめていただきました。議会で議決したことや審議していることをわかりやすく伝えることができれば、住民の皆さんからの信頼も得られます。

開かれた議会 のためにも議会広報紙は重要なツールです。今回学んだ助詞の使い方ひとつで、全く異なる内容に受け止められてしまう可能性があることを前田先生にわかりやすい講義で教えていただき、有益でした。東員町議会だより編集において、「幅広い年齢の住民の方が読みやすい議会広報紙を編集する」という目標達成していけるようにしたいと思います。

又、開成町議会広報紙の「ウェブサイトと広報紙の両輪で」という広報紙の改革についても、リアルタイムで情報発信することができる点で有効であることと、以前より住民意見が多く届くようになったとかの長所は素晴らしいと思います。

がしかし、高齢の方など日常で SNS になじみのない方にとっては、見づらいといういけんもあるようで、一長一短であると思います。東員町議会広報紙づくりにおいて、開成町議会紙の作り方を取り入れられる部分があり（QR コードを増やす、動画作成）、チャレンジしてみたいと思います。今、東員町議会広報紙はどちらかという高齢者の方に関心をもっていただけて読んでいただけているが、若年層になかなか手に取って読んでもらえてない現状ですので、一つでも二つでも取り入れていかないといけないという思いを強くしました。

今回の視察研修は参考にさせていただけることが多く有益でした。